



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2006.10.25 (No.2432) 週報 No.16

第2560地区ガバナー／中條 耕二
会 長／渡辺 勝利
会長エレクト／荻根澤 隆雄(クラブ奉仕A)
副 会 長／中村 和彦(クラブ奉仕B)
幹 事／山田 富義
S A A／石月 良典
会 計／中村 和彦

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:62名中47名
■先々週出席率:81.03%

【ビジター】

・三条東RCより
本多昭一さん、横山惣治さん

【先週のメイクアップ】

【10.23】三条南へ
・菊池 渉さん、松谷呉吉さん、
・山田富義さん、五十嵐晋三さん



「率先しよう」

2006～2007年度国際ロータリーのテーマ



セイトカアワダチソウ

会長挨拶

渡辺勝利 会長



秋も進み北から紅葉の便りが聞かれるようになりました。私も先日2、3日長野の高原で紅葉を楽しんで参りました。

今日は会長挨拶の前に先日の地場産センターで行われた地区大会で、当クラブの誇りであります藤田説量会員が長寿ロータリアンとして表彰されまして、代表としての受賞をご指名されましたが、地元なの

で遠慮するとご辞退されました。その表彰状が届いておりますので皆様の前で私からご本人にお渡ししたいと思います。藤田会員ご登壇をお願いいたします。

「表彰状 長寿ロータリアンとして長年にわたり――」

藤田さんのこの度の受賞はご本人はもとより、当クラブにとりまして大変喜ばしいことであり、誇りに思うところがあります。これからも健康に留意され益々お健やかにいつまでもお元気にてお過ごしのこと、心より願っております。

今日は斎藤会員の卓話の日です。段の上から見ますと心なしか、出席者がとても多いような気がしております。皆さんの期待が大きいのではないのでしょうか。先週の卓話で渋谷先輩から、「渡辺会長の挨拶はいつも長い、、、」と言われてしまいました。どうも頭のめぐりが悪いようで、だらだらとしてお恥ずかしい限りです。今日は当クラブにとりまして大変お目出度い話題のあった日でもありますので、私の挨拶はこの辺にて終わらせていただきます。

幹事報告

山田富義 幹事

◎中條ガバナー事務所より
第2560地区米山奨学生学友会総会開催のご案内がとどいております。

と き 11月25日(土)
ところ 三条ロイヤルホテル AM11:00～
登録料 3,000円

◎三条市青少年育成市民会議より
第2回「私のメッセージ三条市小学生大会」開催のご案内がとどいております。

と き 11月11日(土) AM9:20～
ところ 中央公民館

◎三条市特別支援教育研究協議会より
市内特別支援学級児童生徒「ウインターフェスティバル」のご案内がとどいております。

と き 12月1日(金) AM9:00～
ところ 三条市総合福祉センター

◎次週11月1日の例会は休会です。
11月15日(水)の例会は例会場(三条信金)が使用できませんので、VIPにての例会です。
お間違いのない様、よろしくお願い致します。

11月のお祝い

◎会員誕生祝

9日 西山徳厚さん
26日 熊倉昌平さん
29日 渋谷健一さん



◎夫人誕生祝

5日 川瀬弓子さん(康裕)
10日 外山セツさん(雅也)
12日 渋谷トヨさん(健一)
14日 野崎ミチコさん(喜一郎)
17日 中村範子さん(和彦)
27日 後藤美美さん(隆夫)
30日 船越廣美さん(正夫)

◎結婚記念祝

2日 外山雅也さん(セツさん)
3日 川瀬康裕さん(弓子さん)
9日 成田秀雄さん(久美子さん)
11日 西山徳厚さん(郁子さん)
11日 金子俊郎さん(裕子さん)
12日 五十嵐力さん(芳江さん)
18日 高森章仁さん(美知子さん)

◎100%出席賞

8年 佐野勝榮さん

ニコニコBOX

渡辺勝利さん

斎藤弘文会員の卓話ありがとうございます。
先日、長野の高原の紅葉を楽しんで来ました。

藤田説量さん

斎藤さん、スピーチご苦労様です。
久しぶりに出席します。

荻根澤隆雄さん

スマイルBOX大委員長の斎藤先輩の卓話、ご期待申し上げます。ご苦労様です。

丸山行彦さん

斎藤弘文さん、卓話ご苦労様です。お話とても楽しみです。

にこにこボックスしないと怒られそうです。

猪口英夫さん

久しぶりの例会です。
斎藤弘文会員の卓話、楽しみにしております。

小柳直人さん

斎藤さん、卓話おもしろい話にして下さい。

藤田紘一さん

寒くなってきました。斎藤会員、卓話ご苦労様です。

高森章仁さん

久しぶりに同級会をしました。飲み過ぎました。

日戸平太さん

卓話に期待して。

広岡豊作さん

斎藤さんの説得力溢れる卓話を期待しています。

五十嵐晋三さん

いちょうが美しく色づき始めました。秋ですね。
斎藤さん、卓話楽しみです。

小越憲泰さん

斎藤先輩の卓話、楽しみです。
OBを出さないで下さい。

会田二郎さん

斎藤会員、卓話大変ありがとうございます。
50周年、楽しみです。

佐野勝榮さん

斎藤BOX委員長へエールを送って!

明田川賢一さん

スマイルボックスのボスのスピーチです。よろしくお願ひします。思いきって2口入れます。

小出子恵出さん

明田川さんと同文。

石倉政雄さん

先週、上海へ出張して欠席しました。上海の空気の悪さにおどろきました。中国も早く地球環境を考えてほしいと思います。

斎藤弘文さん

つたない話で申し訳ありません。

若槻八十彦さん

斎藤会員の卓話を大変楽しみにしております。
50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

山田富義さん

斎藤弘文会員、卓話ありがとうございます。

50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

石塚欣司さん

斎藤会員の卓話、楽しみです。

50周年の成功に向けてボックスに協力します。

伊藤寛一さん

50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

石橋育於さん、外山雅也さん、近藤雄介さん、五十嵐寿一さん、金子俊郎さん、佐藤 武さん、杉山幸英さん、中村和彦さん、熊倉昌平さん、船越正夫さん、樺山 仁さん、歸山 肇さん、五十嵐昭一さん、石月良典さん、松永一義さん、高橋 司さん

斎藤さん、卓話ありがとうございます。楽しみにしております。

10月25日分 ￥ 49,000
今年度累計 ￥ 850,000

卓 話

斎藤弘文 会員



最初に今年はスマイルボックスに、多数入れていただいたことに感謝申し上げます。私の話によくの方々からボックスに入れていただきありがとうございます。

週報からの前文カットという話を期待されておられるかも知れませんが、プログラムの会田さんより、歴代の会長の苦勞話とか、今後の

ロータリーとしてのあり方をお話し願いたいということですので、私も伝統ある三条ロータリークラブの元会長として品格のある話をしたいと思います。

昨年のスマイルボックスも中々苦勞したと思います。そこで今年の会田委員長は、歴代の会長に卓話をお願いすれば、卓話に期待しているとのことで、多数集まるのではと考え、見事に多数集まっております。改めて、会田委員長に感謝申し上げます。

今日何を話そうかと考え事務局より30周年の記念誌、それから40周年の記念誌をお借りしまして過去を振り返りながら考えたわけがあります。ところが、あまりにも多くありまして、30分では話きれないわけがあります。それでは、話をさせていただきます。

今流行の言葉で「よそ者」という言葉がありますけれども、私も昭和42年2月25日に三条に住むようになりました。今振り返ってみますと私が入っていた、三条青年会議所という団体があります。

47年に入会して57年にロータリーに入会しました。青年会議所に入っていなければロータリーには入っていなかったと思います。青年会議所への入会の誘いは、「あなたはよそから来たんだから友達も少ないでしょう、入会すれば友達も多くできていいですよ。」という話でした。私を推薦してくれた方、笠原商店の笠原さんと信金に勤務しておられた鈴木さんであります。それ以来、お二人を人生の師としてずっと交際しております。おかげで競馬もマージャンも覚ええました。青年会議所に入って一番の収穫は自分で考えられないような大勢の友人に恵まれたことあります。その中の一人に渡辺勝利さんが入会したばかりの50年の年、渡辺さんが青年会議所の理事長になられまして、私に専務理事をやれということで、やらされました。大変な大役でありまして、100人以上の会員を束ねる裏方の仕事をしたわけでございます。これが今日の私を作ってくれた大きな要因となったのではないかと思います、青年会議所に大変感謝しております。

その3年後に梨本さんと中條さんに推薦を受けまして、三条ロータリーに入会しました。

青年会議所、三条ロータリーに入会していなかったならば現在の私があったかどうか、もっと言うと現在家業としておりますシマト工業があったのかと考えますと、私は絶対あり得なかったであろうと思うのであります。この2つの団体が私を育ててくれました。私はロータリーに多くの人を推薦してきました。自分がすばらしいと思ったことは人に勧めるというのが人間の気持ちではないでしょうか。

ところで、昨年7月でありますけれども、佐野勝榮会員より電話をいただきました。「新潟日報に小林九満太さんの訃報が出ていましたが、あなたのところに連絡がありましたか」ということでした。私は慌てて新潟日報を見ましたが、ほんの小さく訃報が載っていたわけでありまして、とりも直さずお通夜に行きまして、本当にさびしいお通夜でありました。平成2年に小林九満太さんの幹事になりました。証券会社が一番景気の良い年で、野村證券が2兆円の利益を出した年でありました。そんなことで、私はいい形の付き合いを小林九満太さんとさせていただきました。たまたま小林さんより電話がありまして、「小林ですが、わかるかね」ということでした。小林九満太さんは、どちらかというとおしゃべりの得意でない方でしたので、会では一度もお話ししたことはありませんでした。そしてまた、ごつい感じのする方でありまして、私もどちらかというとそのタイプでありまして、なるべく近づかないようにしておりました。そんな人から幹事になってくれるよう要請がありまして、お引き受けしました。そして、小林九満太さんの幹事を受けて良かったと、本当に思いました。あの方は戦後の東大の第一期生で、新潟県では最初の卒業生でありました。小林さんは潟東で700町歩の大地主でありました。小林九満太さんが会長のときのガバナーが新津の原さんでありました。彼は小林九満太さんの10倍の地主であった

そうです。新津駅の周辺は全部原さんの土地であったそうです。小林九満太さんが言うには「700から1000町歩では地主とは言わないんですよ。最低でも3000から5000町歩ないと地主とは言わないんですよ」と言っていたことが強く印象に残っております。小林九満太さんに「会の運営はおおらかにやりましょう、あまりケチケチしたことは言わないで楽しくやりましょう」と言って、あの頃は景気も良かったので大分ご馳走になりました。会長の評価は会員の働きによって良くもなり悪くもなります。それには、会長さんのことを知りたいということで、小林九満太さんの自宅で例会を開いたことがありました。そこで、大変な料理とお酒を出していただきました。途中で飲み疲れてお勝手に奥さんにお茶を頼んだところ、一升瓶を持ってこられたので、お酒でなくお茶がほしいと言いましたところ、変な顔をされました。「家にはお茶はありません。全部お酒です。」と言われました。それも一升瓶でラベルもちゃんとしたもので、お客を接待する、そういうお家でした。

一番の思い出は何かということ、会員名簿が写真入りになったということです。その時に小林さんと言い争いになりました。「わざわざ高い金を出して会員名簿を出す必要はないのではないか」と申し上げたのですが、中々聞き入れてもらえませんでした。100名にも満たない会員で、ある程度知られている会社の代表の方を知らないというのはおかしいと言ったのですが、あの当時、金子左武郎会員が周りの人に「あの方は誰ですか」と何回も聞かれておられたので、顔写真名簿を作ればこんなこともなくなるだろう、と思われて作られました。

2つ目は会員を君付けで呼ぼうということでした。なかなか目上の方に対して君付けで呼ぶことに抵抗を感じまして（ある出来事がトラウマとなっていることがあります）つつい、さん付けで呼んで叱られたことも苦い思い出です。

第3番目には会長挨拶のことで、その挨拶に対して「今日良かったですよ」と耳打ちするとニコッとされていました。それを忘れてると必ず会社まで電話があり、今日の挨拶のことを聞かれました。小林九満太さんが亡くなられたことも知らないでいる人のためにも、小林九満太さんの思い出を語ることが自分の使命と思い、今日お話をしました。

それから、私が会長をしました年は2560地区が群馬と新潟に分割された年であります。それで、私のときの地区大会は新ロータリーに変わりました。私

はどう変わったのか、それは個々で真剣に考えていかなければならない大きな問題であると思っております。間違いなく、変わったことの1つとして、楽しみの1つがなくなりました。群馬の方とお付き合いができなくなったことであります。いろんな地区の方々のお話を聞くことによって得られるものが大きいと思われま。吉田ガバナーのときに三条の会長さんは捧さんで、幹事が五十嵐さんでありました。そのとき私は、会員増強委員長でありました。そのときに群馬と新潟のロータリーとライオンズのある地区の人口を全部調べました。しかも、男性何名、女性何名まで調べました。そして、その人口に対してロータリアンが何名かも調べ、それをリストにして村上の吉田さんに提出しました。三条クラブに来たら間違っても会員増強の話をしてほしくないというコメントを書いて送りました。どういうことかということ、三条の人口に対してロータリークラブが3つ、ライオンズクラブが2つあり、非常に高い比率であります。人にこうしろ、ああしろと言うのであれば、その前に自分の足元をきっちり固めてから来てください。と申し上げたわけでありま。それを一番喜んでくれたのは、故鈴木宗資さんでした。

やはり、自分が努力しないで人にとやかく言うべきことではない気がします。私は皆さんが期待したとおり、絶えず人の悪口と、欠点探ししかしていない男です。

この前インドに行きました。その会社のいたるところに「改善」という言葉が張ってありました。改善とは、今より良くするということであります。現状を把握できない人に改善はあり得ないと思います。わが社は25年間同じことを終礼のときに唱和しております。①まず行動せよ。失敗を恐れず行動せよ。②常に疑問を持て。③創造性を持つ。④ハングリーになれ。それから、時間は有限だよ、無駄にはいけない。そして最後に奉仕の心を忘れてはいけない。やはり、人間とは社会性があり、自分だけ良いということはない。隣人と調和してみんなと仲良くし、少しでも人のためになる。それがすべての組織につながり、人として一番重要なことであると言っております。私は社長をしておりますけれども、社長自らが、率先して公的な仕事とか一銭にもならないことに精を出しております。この姿を見せておけば、些細なことには不満を言うものはいないと信じて、公職に一生懸命に邁進しております。

次週例会 11月8日 会員卓話 五十嵐昭一会員

次々週例会 11月15日 「ロータリー財団月間」
地区R財団委員長 神成肅一様

